

日本電設 3ヶ年経営計画 2021

2021年度（第80期）～2023年度（第82期）



ニューノーマルに挑む 変革

2021年5月31日



日本電設工業株式会社

NDKグループ

ニューノーマル時代を見据えて

新型コロナウイルス感染症の拡大は企業の事業環境を一変させ、今後の日本経済においては企業業績の二極化が進む見通しであり、社会構造変化への対応が新たな課題となる。中でも「脱炭素社会の実現」「デジタル化の加速」という大きな流れに適応することが求められている。

以上により当社においては以下の施策に取り組む。

1. DXによる競争優位性の確立

リアルとデジタル技術との最適な組み合わせによる業務改革、ペーパーレス化による生産性向上、ゼロカーボン等への貢献

2. 社員満足度の向上

マネジメント力、コミュニケーション力の強化育成、ワークライフバランスの実現、エンゲージメントの向上

3. 今後成長が期待される事業

ゼロカーボンへ向けた環境エネルギー事業への参画、DXの加速によるデータ通信量の増大を見据えたインフラ整備、移動体通信技術に伴う建設工事、EC拡大による物流倉庫等増設

4. 働き方改革および人事諸施策の推進

働き方の多様化、働き方に適した労務管理、ジョブ型雇用

経営目標

新たな変革の時代に対して、新しい常識や常態への対応および古い価値観の打破に挑戦するとの決意のもと、副題を「ニューノーマルに挑む 変革」とした。

既存事業にさらに磨きをかけるとともに、今後成長が期待できる分野を見極め新たな事業の創造を加速させ、2024年3月期に向かってV字回復を必達目標としている。

コロナ禍後の経営環境の変化を見据え、部門ごとに戦略を立て、その戦略をもとに施策計画を策定した。

当社を取り巻く経営環境について

【鉄道電気】

各鉄道事業者の収益悪化により、受注への影響は近年にはない厳しい状況

【一般電気】

官公庁工事は順調な一方、民間工事の受注環境が好転するのは2022年度以降になると想定

脱炭素社会の実現に向けた環境・エネルギーへの投資に期待

【情報通信】

5GやDX(デジタルトランスフォーメーション)によるデジタル化への投資に期待

重点実施テーマ

当社は安全な施工と高品質な成果物の提供によって、お客さまからの信頼と期待にお応えできる企業として成長してきた。将来にわたりそれを確固たるものにするためには社員一人ひとりが仕事に誇りを持ち、喜びや働きがいを感じ成長を実感できる会社となる必要がある。

この実現に向けて、以下の4項目を重点実施テーマとした。

1. 安全・品質とコンプライアンス

安全・品質の取り組みのブラッシュアップに加えて、コンプライアンスの徹底によりお客さまからの信頼をより高める。

2. 自ら考え行動する社員の育成

社員一人ひとりが気づき力を磨き、自立的に業務に取り組める人材の育成に注力する。

3. 人と組織の連携で新たな価値創造

全国で事業展開する当社の強みと協力会社を含めたNDKのチーム力を高め、新たな価値を創造する。

4. 働きがいを実感できる職場づくり

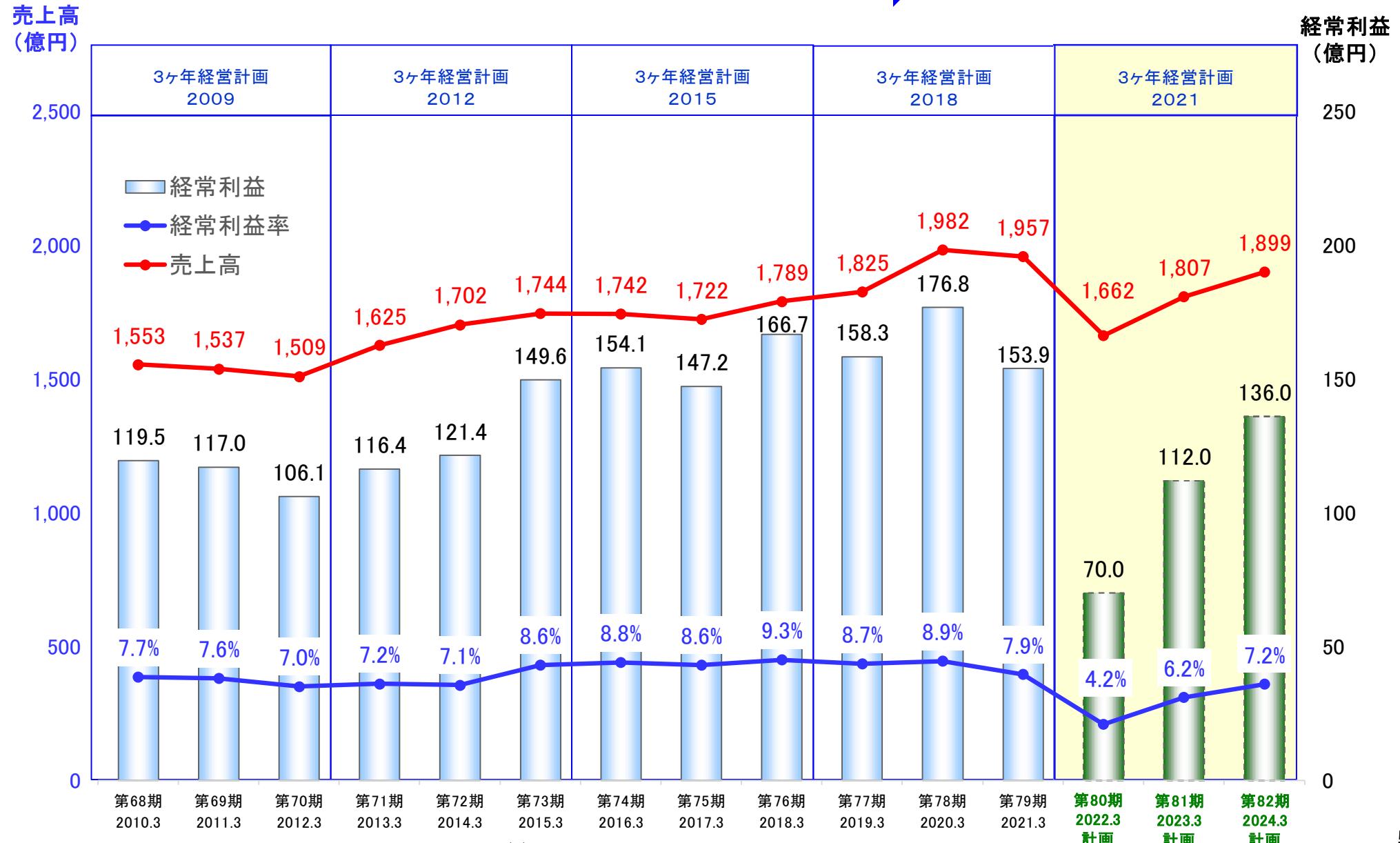
社員一人ひとりが働き易さと働きがいを実感できる職場づくりを目指す。

数値目標(連結)

(単位:百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 計画	2023年3月期 計画	2024年3月期 計画
受注高	190,660	166,400	172,000	180,000
売上高	195,695	166,200	180,700	189,900
営業利益	14,188	5,900	10,100	12,400
経常利益	15,390	7,000	11,200	13,600
営業利益率	7.3%	3.5%	5.6%	6.5%
経常利益率	7.9%	4.2%	6.2%	7.2%

2024年3月期に向かってV字回復  持続的成長へ



鉄道戦略

コロナ禍によって事業環境が大きく変化する中で、各鉄道事業者から求められる使命を着実に果たすことによりさらなる信頼関係を維持し、新たな業種への参入や新規顧客開拓により受注拡大を目指す。

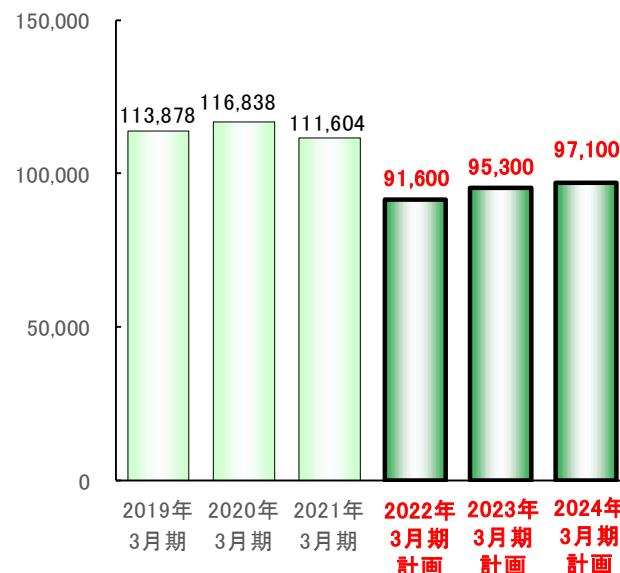
協力会社における若手技能者の確保や、人材育成強化による技術力の底上げにより持続的成長に向けた施工体制の強化を図るとともに、新たな機力施工の早期実現等、現場ニーズに即した技術開発の推進と生産性向上を進める。

1. JRグループからの確実な受注確保
2. 公民鉄部門のさらなる受注拡大
3. 施工体制強化
4. 人材育成の強化によるさらなる技術力向上
5. 働き方改革の推進と生産性向上

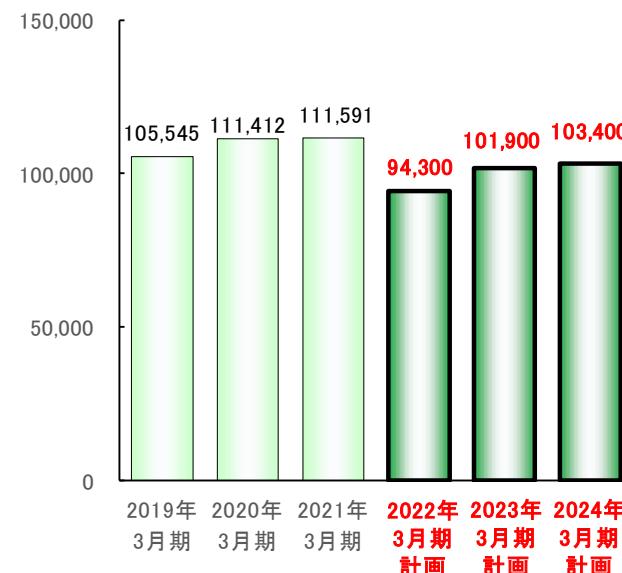
鉄道電気工事 数値計画

(単位:百万円)

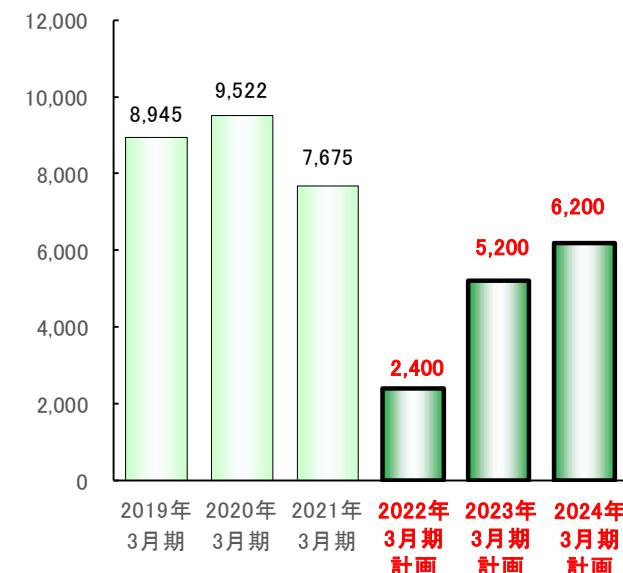
受注高



売上高



営業利益



■計画のポイント

- 受注高、売上高は各鉄道事業者の工事抑制および東京オリンピック・パラリンピック関連工事の収束を見込む一方、新型コロナウイルス感染症の収束による各鉄道事業者の業績回復を見込む。
- 営業利益は売上高の減少、連結子会社を含む工事採算性の低下および施工体制維持・強化のための原価を見込む一方、戦略の実行によりV字回復を目指す。

一般電気戦略

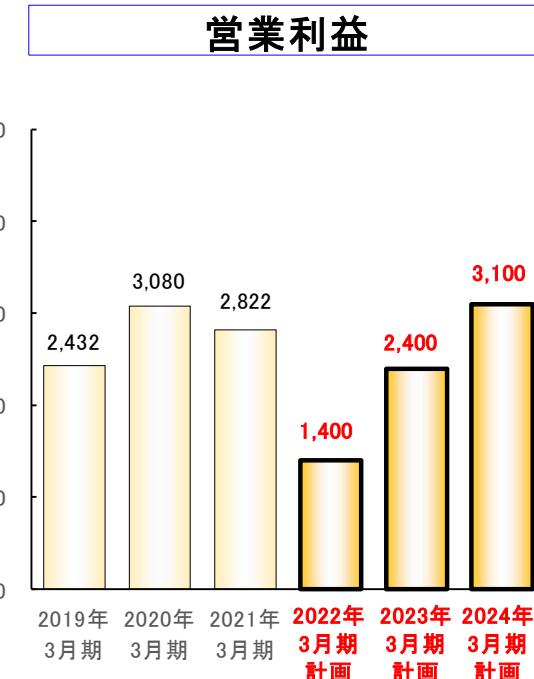
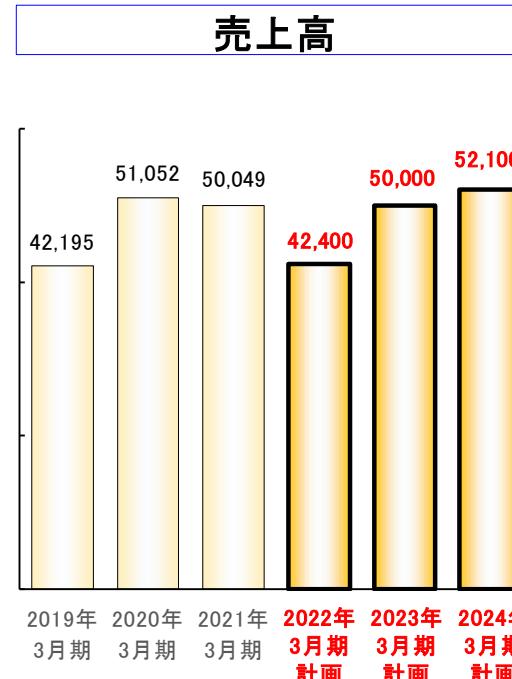
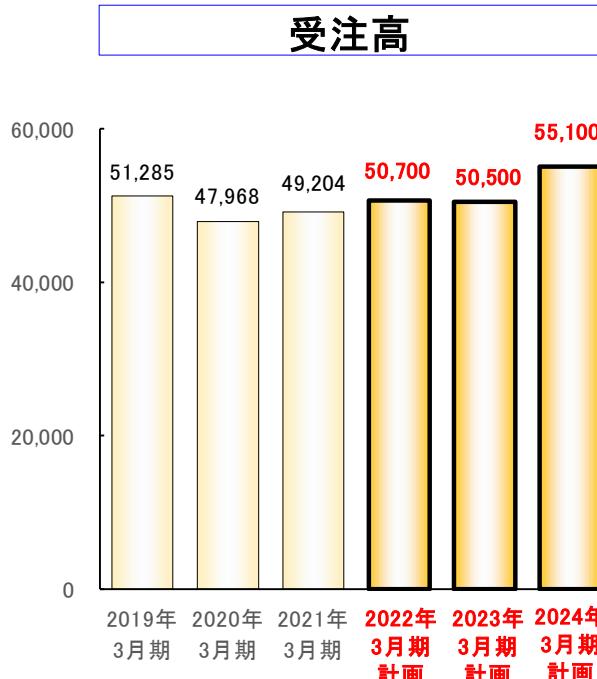
受注の「量」に加え、利益・将来性・協力会社の強化・人材育成・働き方改革を総合的に考えた受注の「質」を高めた戦略的な提案営業を強化し、「量→質」への変革を図る。

100%子会社の規模拡大と常連協力会社とのさらなる関係強化を目指すとともに、生産性向上に向けてICTの活用と現場のニーズに即した技術開発を推進する。

1. 「量→質」へ変革する戦略的受注獲得
2. 全国組織を活かした体制の強化
3. 全国の環境・エネルギー分野の強化
4. 協力会社の体制強化
5. 人材育成強化によるさらなる技術力向上
6. 働き方改革の推進と生産性向上

一般電気工事 数値計画

(単位:百万円)



■計画のポイント

- 受注高、売上高は成長投資案件等への積極的な営業展開による受注獲得、新型コロナウイルス感染症の収束による民間企業の業績回復を見込む。
なお、2022年3月期の売上高は竣工物件が少ない端境期にあたり減少。
- 営業利益は売上高の減少および価格競争等による工事採算性の低下を見込む一方、戦略の実行によりV字回復を目指す。

情報通信戦略

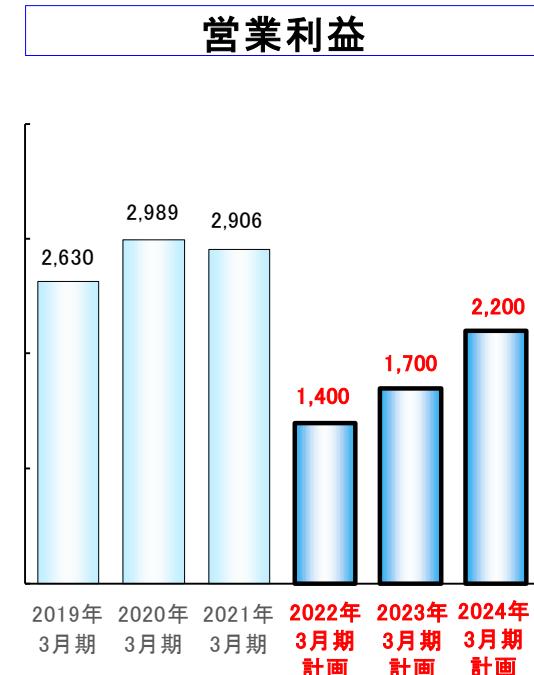
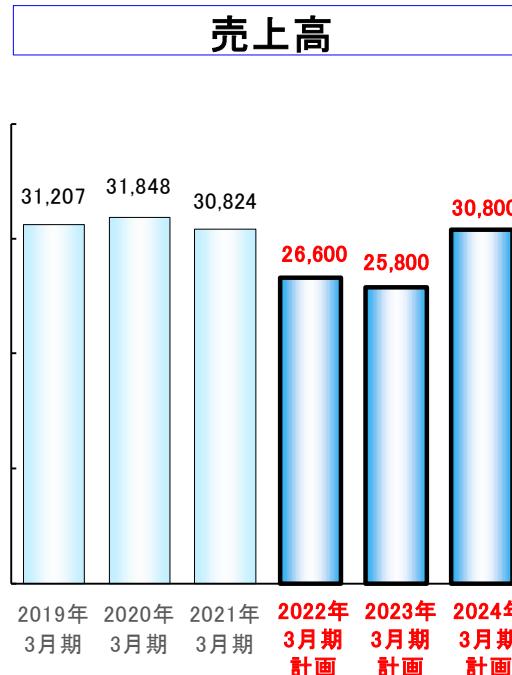
携帯事業者等による5Gへの積極的な設備投資や各企業のDX推進による新たな設備投資が見込まれることから、全国で対応できる施工体制を構築・強化することにより、継続的・安定的な受注を目指す。

顧客から信頼を得る提案営業を行うため、最新技術などに対応した社員の技術レベル向上に取り組むとともに、ICT活用の深化や技術開発により生産性向上を進める。

1. 全国情報通信工事の新たな組織体系構築
2. 全国のモバイル工事の受注確保
3. 全国のネットワーク工事の受注拡大
4. 人材育成強化による技術レベルの向上
5. 働き方改革の推進と生産性向上

情報通信工事 数値計画

(単位:百万円)



■計画のポイント

- 受注高、売上高は東京オリンピック・パラリンピック関連工事の収束および得意先の工事抑制を見込む一方、新型コロナウィルス感染症の収束による民間企業の業績回復を見込む。
- 営業利益は売上高の減少、連結子会社を含む工事採算性の低下および施工体制維持・強化のための原価を見込む一方、戦略の実行によりV字回復を目指す。

その他(関連事業) 戦略

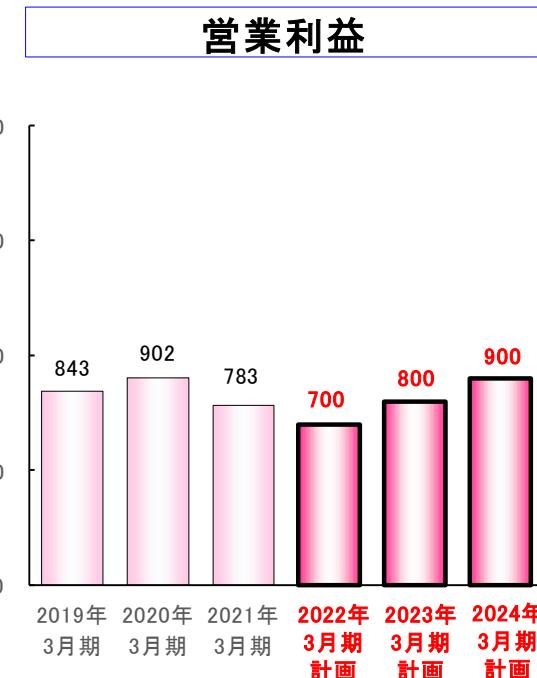
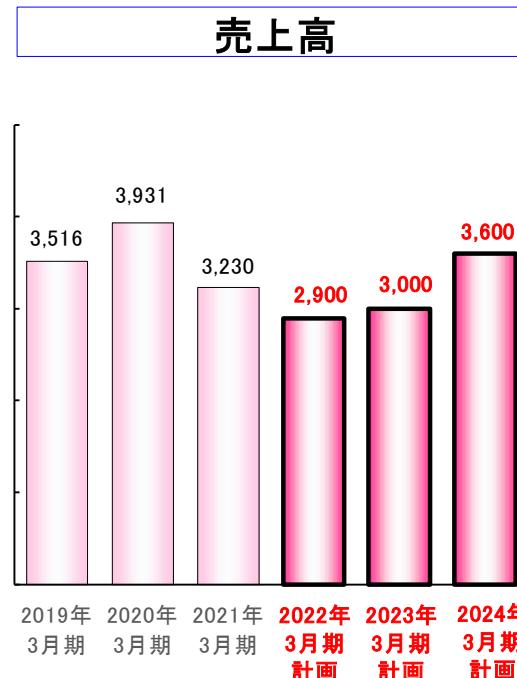
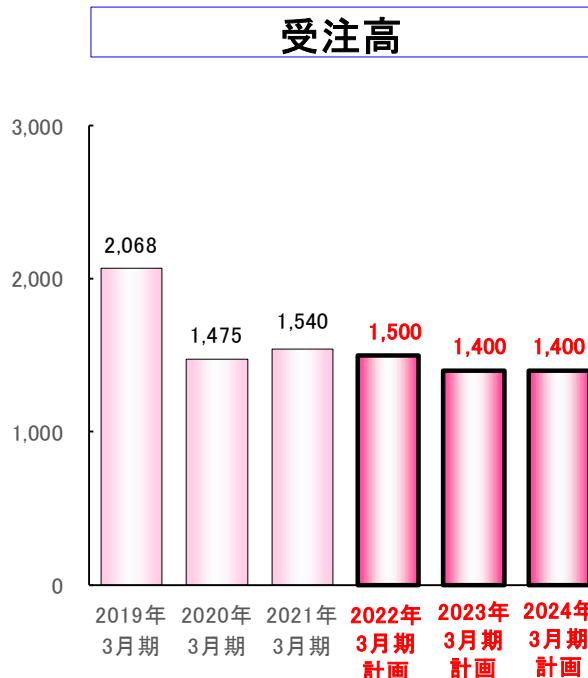
保有不動産を活用した賃貸事業は、新規の不動産収益物件取得等への投資や、収益性の低い所有不動産から収益性の高い事業への再投資により収益拡大を目指す。

NDK総合サービス(株)の関連事業部門は、グループ外取引の拡大、電気保安事業の体制強化により連結収益拡大を目指す。

1. 関連事業本部の事業収益拡大
2. NDK総合サービス(株)の連結収益拡大
3. 中長期不動産戦略の推進

その他(関連事業) 数値計画

(単位:百万円)



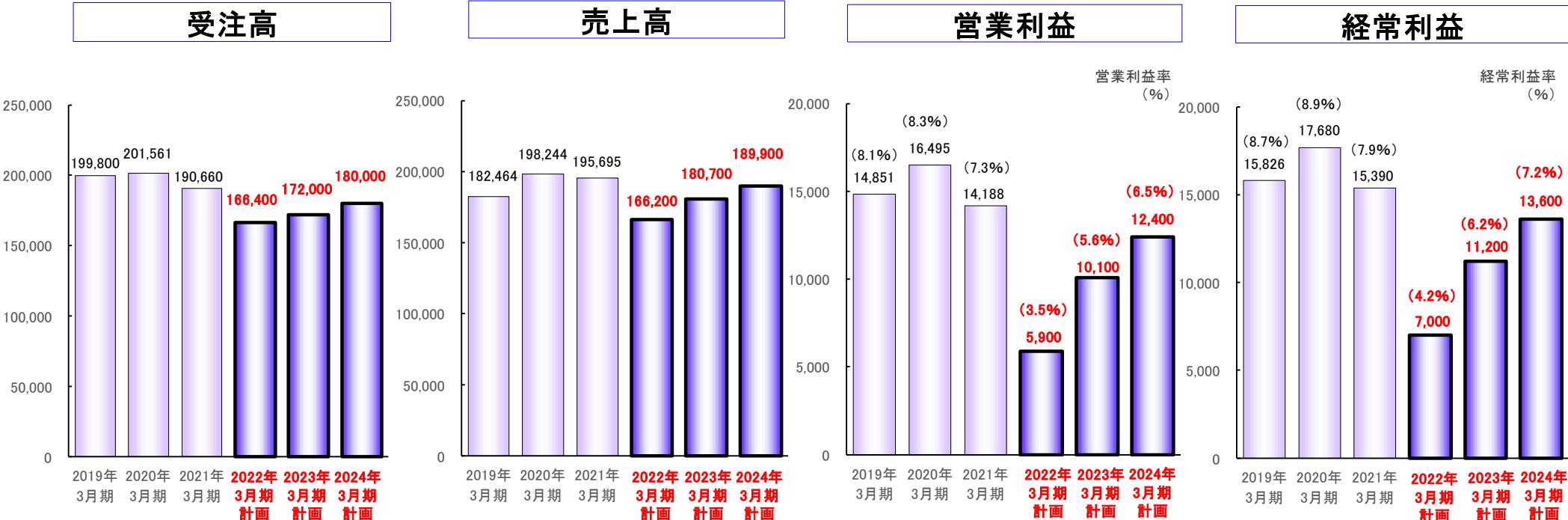
■計画のポイント

- ・売上高、営業利益は不動産の収益性改善とグループ外取引の拡大を見込む。

※「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等
※不動産の賃貸・管理等は、受注生産を行っていないため、「受注高」には金額が含まれていない

ニューノーマルに適応すべく変革を加速させ、 2024年3月期に向けV字回復が必達目標

(単位:百万円)



	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
受注高	166,400	172,000	180,000
売上高	166,200	180,700	189,900
営業利益	5,900	10,100	12,400
経常利益	7,000	11,200	13,600

主な取り組み施策

◇安全は会社経営上の最重要課題

◇安全の原点への立ち返り

- ・安全文化の構築
- ・安全かつ着実な施工管理の実施
- ・安全マネジメントの推進
- ・安全レベルの向上

◇リスク管理型安全マネジメントの推進

安全の原点への立ち返り

安全文化の創造

私たちは
命を大切にします

私たちは
技術を磨きます

私たちは
健康で明るい**職場**
明るい**家庭**を築きます

安全文化の創造は「人命の尊さ」「人を大切にする心」を
全ての発想の根源として行動する社風を創っていく取り組みです。



NDK安全文化創造館



VRによる安全教育

安全推進ポスター

◇技術力・技能の向上、施工体制強化

◇社員・協力会社社員の技術教育の充実

◇協力会社の若手社員育成と資格取得支援

◇技術力の底上げと弱点補強強化

◇ICTを活用したオンライン教育



中央学園(千葉県柏市)



電車線実習
(軌陸車を150台保有)



資格取得教育

◇ZEB化事業の推進



◇ZEBプランナー登録 (2018年2月)



道後温泉 ホテル古湧園 遙
新築ZEB化事業工事

◇ZEBリーディング・オーナー登録 (2020年1月)



TEMS小牛田SC (施工のみ)

◇環境エネルギー本部を発足 (2020年9月)

一般電気工事分野、環境設備分野および創エネルギー分野において、ZEB等で培った総合技術を活かすなど営業の裾野を広げ、更なる受注拡大を図る



NDK新潟ビル

◇ZEBの提案営業を推進
道後温泉 ホテル古湧園 遙 (ZEB Ready)
2019年10月完成



TEMS新青森事務所

◇ZEB対応の自社ビル等

NDK千葉ビル (Nearly ZEB) 2019年11月完成

TEMS小牛田SC (Nearly ZEB) 2020年3月完成

NDK新潟ビル (Nearly ZEB) 2021年2月完成

TEMS新青森事務所 (ZEB Ready) 2021年3月完成

NDK秋田ビル (ZEB Ready) 2021年4月完成

NDK仙台東ビル (ZEB) 2021年11月完成予定

100%ZEBを達成したうえで先進的設備を導入した建物を建設中

※『ZEB』(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)

年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロ、またはマイナスの建築物

Nearly ZEB: 75%以上省エネの建築物

ZEB Ready: 50%以上省エネの建築物



NDK千葉ビル



NDK秋田ビル



NDK仙台東ビル

◇働き方改革

◇生産性向上の取り組み

- ・タブレット端末の活用(図面共有・テレビ会議等)
- ・クラウド共有ファイルサーバの導入
- ・沿線画像表示装置による現地調査の省力化
- ・技術開発による施工の効率化
- ・通年ノーネクタイ・ビジネスカジュアルの導入

(2021年4月1日より)、事務所のフリーアドレス化

- ・RPAの導入
※RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)
人間がコンピュータを操作して行う作業を、ソフトウェアによる自動的な操作によって代替すること。

◇女性活躍推進

- ・課題解決のための思考力・討議力を向上させる
哲学シンキングの実施

◇長時間労働是正・人事諸制度改正

- ・時間外労働の上限規制順守を2022年3月期に
前倒しで実施
- ・多様な働き方の実現に向けた制度の制定



タブレット端末を活用した図面共有



技術開発による施工の効率化
(架空送電工事用ロボットの開発)



生産性向上に向けた
「10のフィルタ」による推進



事務所のフリーアドレス化
(イメージ図)



RPA講習会

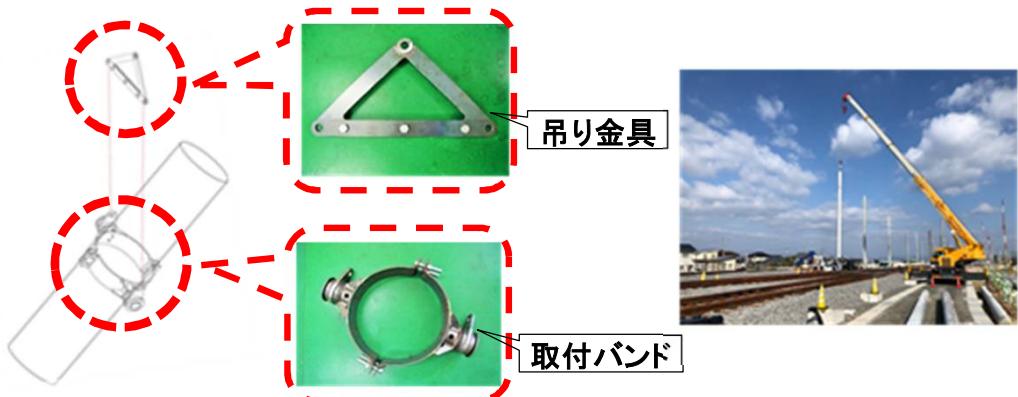


哲学シンキングの実施

◇技術開発

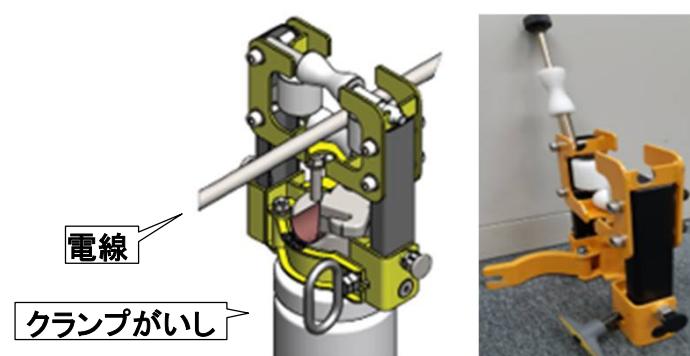
【電柱建植用金具の考案】(創意工夫功労者賞)

電柱建植を安全・確実に行えるよう、吊り金具と取付バンドを考案した。これにより、柱を安定な状態で吊り上げることができる。



【クランプがいし用金車の改良】特許出願中

鉄道の高圧配電線張替え工事の施工性を向上させるために、電線をクランプがいしに簡単に移し替えができる金具を開発した。今後、工事で活用していく。



令和3年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞

(創意工夫功労者賞)

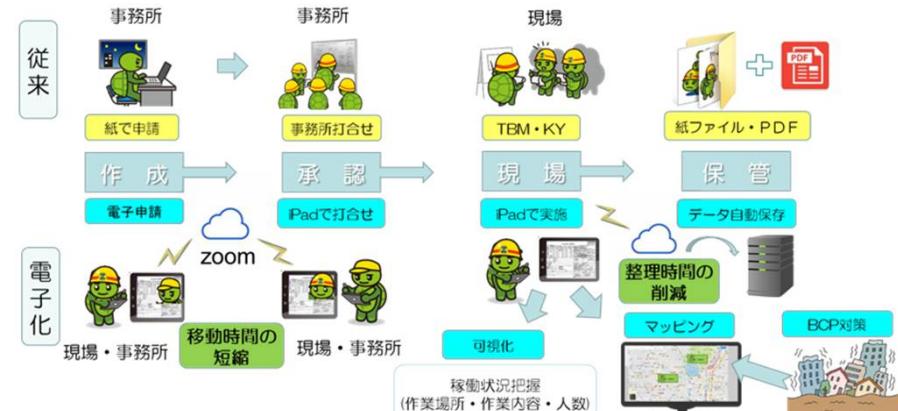
【アンカーボルトガイドキャップの開発】意匠登録済

鋼管柱を据え付ける際、座板に開いた穴とアンカーボルトとの位置合わせに苦労していたため、アンカーボルトに被せるキャップを開発し、安全・円滑に作業を行えるようになった。



【NDK工事管理支援システムの開発】

作業計画や現場管理等の業務を場所や時間を問わず実施できる工事管理システムを開発し、データの共有や稼働状態の可視化を実現した。



ニューノーマルに挑む 変革

「安全・品質とコンプライアンス」

安全・品質の取り組みのブラッシュアップに加えて、
コンプライアンスの徹底によりお客さまからの信頼をより高めます。

「人と組織の連携で新たな価値創造」

全国で事業展開する当社の強みと協力会社を含めた
NDKのチーム力を高め、新たな価値を創造します。

「自ら考え行動する社員の育成」

社員一人ひとりが気づき力を磨き、
自立的に業務に取り組める人材の育成に注力します。

「働きがいを実感できる職場づくり」

社員一人ひとりが働き易さと働きがいを
実感できる職場づくりを目指します。

日本電設3ヶ年経営計画 2021



日本電設工業グループ

本資料で記述しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後のこととしまだなリスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は本資料における予想と異なる可能性があることをご承知おきください。

【お問い合わせ】
日本電設工業株式会社 広報部

〒110-8706 東京都台東区池之端1丁目2番23号



TEL: 03-3822-8825
FAX: 03-3822-8960
URL <https://www.densetsuko.co.jp/>